

**株式会社群馬クレインサンダーズとの地域課題解決に向けた連携事業
「学童期におけるスポーツ傷害の発生原因と復帰時期に寄与する要因の検討」
に係る共同研究の目標設定・評価体制等について**

次の a から d についてサイクルを構造化する

a 地域の課題を認識し、その課題解決に向けた共同研究の目標設定

群馬クレインサンダーズでは、随時行われるバスケットボールクリニック、定期開催のバスケットボールスクール、さらにトップチーム入りを目指すユースチームの育成指導を実施している。これらの参加者を対象に体力測定を行い、そのデータを分析したうえで、以下2つの地域課題解決に向けた共同研究の目標を設定する。

- ・バスケットボールでは足部内反捻挫や前十字靭帯損傷が多く、年齢・性別・競技レベルが傷害発生に影響すると報告されている。そこで運動習慣や競技レベルの異なる群ごとの特性を示し、それぞれのスポーツ傷害の発生要因を明らかにすることを目標とする。
- ・先行研究ではスポーツ傷害予防に関する報告は多くなされているが、受傷後の対応、特に復帰時期の目安については明らかとなっていない。再発を予防し、適切な復帰時期を推定するために、スポーツ傷害からの復帰に要した日数を後方視的に調査し、日数と関連する要因を明らかにすることを目標とする。

b 地域へのフィードバック体制

上記イベントの参加者とその保護者に対しては、測定した筋力やバランス機能、体組成や動作分析の結果について一覧にして配布し、理学療法士による現状の説明と対策等について説明を行う。

将来プロバスケットボール選手を目指すユースチームの選手に対しては、より詳細な測定を追加し自身の運動機能の把握や、トレーニングや栄養管理の効果等の自己評価を支援することで、怪我の予防とパフォーマンスの向上を図る。

また、得られた結果から、学童期における怪我の発生に関わる運動機能や怪我からの復帰時期を推定する方法を明らかにし、群馬クレインサンダーズと共有することで、クリニックやスクールを通して、参加者や地域の子ども達や保護者へ説明・還元する。

c 評価体制

地元産業界等との連携による地域課題解決を目的とした共同研究に関する業務を担う本学の地域連携センターにおいて、評価を行う。その評価内容をもとに次年度の活動内容の見直しを行う体制とする。

d 当該事業に対しての継続的な協議の実施

本学の地域連携センター会議の評価及び群馬クレインサンダーズの意向を受け、継続的な協議を定期的に行う。

令和7年度中に以下、i から iii までの内容を含めて公表する

i 共同研究の概要と連携企業の組織名称

大学ホームページに事業の概要及び組織名称を掲載する。

ii 地域の課題、その課題解決に向けて設定した共同研究の目標

大学ホームページに地域の課題及び課題解決に向けて設定した共同研究の目標を掲載する。

iii 課題の解決に向けて実施する研究内容

大学ホームページに研究内容を掲載する。